



Be creative !



Just remember ! Always be yourself !



新入生の諸君、入学おめでとう！

新入生の皆さんに「自分らしく生きる」ということについてお話をします。

日常会話ぐらい、英語のできる能力を身につけたい。私は、そう思っています。

60 才過ぎて、初めて海外に行く機会を得て、海外に友達ができ、この人たちのことをもっと知りたい、「いいお天気ですね」だけでなく、考えていることを知りた

い、そう思ったことがきっかけです。手当たり次第、テキストを買っては、また、買って、何冊も無駄にして、最終的にたどり着いたのがラジオ講座でした。

毎朝、ラジオ講座は私の通勤の友達となりました。今年の友達は高校 2 年生のニコとネズミのカール。彼らはアニマルキングダムに住人。ニコは人間の世界から、自分の生きる本当の世界を求めて、そして、自分自身があるべきかを求めてアニマルキングダムの扉を開きます。プログラムは一年で終了するため、3 月末をもってこの話は終わりました。ニコは自分の生きる本当の世界をさらに求めて、本来の自分の世界に戻る決心をします。「カール、ありがとう！あなたはいつまでも私の親友よ。」人間の世界に帰るニコにカールは呼びかけます。

「Just remember! Always be yourself!」 忘れないで！いつも君は君らしくいてね！

この中学生向けのお話に並べての紹介で甚だ恐縮ではありますが、現在、全国社会福祉協議会の会長であられる村木厚子さんの文章を少し引用させていただきます。皆さんは村木さんのことはあまり知らないかと思しますので、関心のある人はぜひ一度、調べてみてください。村木厚子さんは昨年度より本学園の顧問をお務めくださっていますが、厚労省にお勤めの折には、身に覚えのない罪で逮捕され、拘留されるという経験をされています。その経験を語る中で、村木さんは、ある小説の中の次の言葉を引用して、自分の思いを語っています。

「あなたが何をしても、あるいはあなたになんの罪がなくても、生きていれば多くのことが降りかかってくる。…だけどそれらの出来事をどういう形で自分の人生の一部に加えるかは、あなたが自分で決めること。」

これは「サマータイム・ブルース」という小説の中で主人公の女性探偵が語る言葉です。拘留所の中で、この言葉は、村木さんの心に強く響いたと言います。「どんな危機に陥っても、自分がコントロールできることは残っている。人生の主導権は手放すなと叱咤された気がした」と村木さんは言います。この村木さんの文章を読んだ時、私の頭にはカールのあの言葉が浮かんできました。「Just remember! Always be yourself!」

自分らしくいられるかどうか、それが一番発揮されなければならないのが、この人生の主導権を自分自身がきっちりと行使すべき時なのではないか。誰にも、選択を迫られる時は必ずあります。その選択が厳しいものであればあるほど、「私はどうあるべきか、どうあることが私なのか。」自分自身の人生の主導権をきっちりと握り、自分の歩む方向を定めたいと、きっと誰もが思うことでしょう。

いつも自分らしくありたい。ところが、これがなかなか難しい。なぜなら、自分らしくあるとは、安きに自分を流すことではないからです。また、自分ほどわからないものはないということを誰もが知っているからです。自分の姿は一つではなく、喜怒哀楽、その時々により多面的な自分が一人の人間の中に存在します。どれも本当の自分です。その中の何を最も大事にしていくのか、



どんな自分をこそ発揮すべきなのか、それを見極めることが私たちに求められます。

この先、3年間、きっといろいろなことが皆さんの身に降りかかります。多くの迷いが生まれます。そんな時こそ、思い出したい。「やれることはまだある。自分の人生の主導権を手放すな。」

ニコとカールの物語の最後、ニコはカールにこう言います。

「I don't have a place in the world yet, but that's okay. I'm happy to be me.」

自分の居場所はまだ、みつからない。でも、いいの。自分が自分でいられること、それが私は嬉しい！

私たち教職員は、新入生の皆さんの伴走者になります。そのことをお約束して、私の式辞といたします。

皆さん、一緒に頑張りましょう。 (2026年度入学式校長式辞より)

Message of Ms. Lilian Reventar for NFUAHS School Entrance Ceremony

姉妹校 Silay Institute School President

To the Chairman, Mr. Maruyama、 the Principal, Ms. Yamaguchi, the Vice Principals, Mr. Matsunaga, and Mr. Imada distinguished faculty members and staff, dear students, parents, ladies and gentlemen,
Good morning.

I am truly honored to be here with you today on behalf of Silay Institute. Thank you very much for your kind welcome and generous hospitality, which reflects the genuine friendship we share between our schools.

Our partnership, which began in 2017 through the International Exchange Program, has grown into a meaningful collaboration rooted in shared goals and mutual respect. As we look ahead, we are excited to celebrate our 10th year of partnership next year, a milestone that speaks of our enduring commitment.

We are also grateful for the signing of our new Comprehensive Partnership Agreement in April 2025, which strengthens our shared vision of advancing educational and research initiatives together.

Looking back at where it all began, this partnership has become a bridge connecting our cultures, our students, faculty, and aspirations. We look forward to more opportunities for exchange, collaboration, and growth in the years to come.

To the students, congratulations on reaching this important milestone in your academic journey. You are beginning this new chapter in a respected and nurturing institution that will guide you and help shape your future. Take pride in being part of this school, make the most of every opportunity, and continue striving for excellence. Your dedication and hard work today will open doors to greater possibilities tomorrow.

With this, I have to end my speech. We warmly invite you to visit us in the Philippines, where we would be



honored to welcome you. Arigatō gozaimasu.

Thank you very much and have a pleasant day.

*** 私たちの姉妹校シラインスティテュート校は日本福祉大学とも提携を結び、協働的な取り組みを進めています。入学式後、丸山理事長とも意見交流を行うとともに、今後の取り組みの確認をしました。**

